

オラ
iHola!

みなさん、はじめまして **三ツ橋雅行**と申します。

少しだけ自己紹介…

今どこにいるの？

南米・**コロンビア**共和国(2027年8月までの予定)

相模原との関係は？

相模大野高校(現・相模原中等教育学校)出身、
23歳まで相模原の南端に住んでいました。



出発前 本村市長を表敬訪問

ふつうは海外協力隊への参加経緯や活動内容などから始めるのですが、最近、**選挙**があって、相模原市とも密接に関係するので、お伝えしてみることになります。

在外投票

2月8日に衆議院選挙と最高裁判所裁判官国民審査が行われました。大人になって選挙権を得てからは欠かさず投票をしてきました。記録断絶か!?!と思いきや、国政選挙に関しては「在外投票」という仕組みで参政権を行使できることがわかりました(残念ながら、来年の統一地方選では投票できません)。

実現までの歴史

初めて在外投票ができるようになったのは2000年で、**比例代表**だけでした。その後、最高裁による違憲判決が相次ぎ、2007年から**選挙区**への投票が、2024年からは**国民審査**もできるようになりました。先人たちの尽力に感謝です。

どこの選挙区？ どこで投票？

さて、私の投票権はどこにあるかというと、国外に居住地を移す前まで住民票を置いていた「相模原市南区」。選挙区は神奈川20区、比例代表ブロックは南関東です。



大使館が入るビル
ボゴタは大都会

そして、地球のほぼ真裏のコロンビアからどのように投票するのか。現状、主に2つの方法があります。1つは在コロンビア日本大使館で投票を行う**在外公館投票**。もう1つは**郵便投票**です。コロンビアの地方都市に住む私は郵便投票のほうがラクではあるのですが、コロンビアでは20年前に郵政公社が破綻したため(街なかにポストがない!)、国際郵便が非常に弱く、投票日までに日本に届けるのは絶望的でした。

そこで、首都・ボゴタにある日本大使館に行き、投票することにしました(飛行機代その他はすべて自腹!!)。

投票初体験！

大使館では会議室に設けられた「投票所」に通されます。在外投票の権利があることを証明する**在外選挙人証**を提示し、いよいよ投票です。仕組みは**不在者投票に似ています**(期日前投票ではなく)。配られるのは、日本での投票と同じ**投票用紙**、秘密投票を守るための封筒(**内封筒**)、本人の投票を証明する署名欄がある封筒(**外封筒**)の3種類です。



投票記載台は
銀色の同じものでした！

今回は、小選挙区、比例代表、国民審査の3つだったので、3種類×3区分の9枚が配られます。小選挙区は**青**、比例代表は**ピンク**、国民審査は**緑**と色分けされていて、投票用紙や封筒もそれぞれの色に統一されているので、混同のおそれは少ないと感じました。また、小選挙区と比例代表の投票用紙には「第51回」と印刷されていたので、前後の選挙と混ざること(ミスや不正)もないでしょう。

すべての候補者・政党が記載された分厚いファイルとともに投票記載台に向かいます。一連を終えると立会人のチェックを受けて、最後に「相模原市南区選挙管理委員会」行きの速達の封筒にまとめて入れて封をして、投票完了です。

※在外投票をイメージしやすいニュース動画はこちら

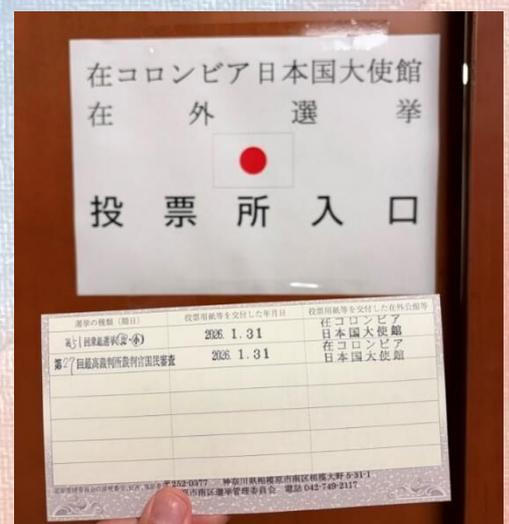
https://news.tv-asahi.co.jp/news_international/articles/000481776.html

投票はどうやって日本に？

なんと、すべて**人力**で運ぶのだそうです。大切な1票ですから、郵便事故や遅延で開票までに届かないということがあってはならないですからね。とはいえ、すべての国や地域から職員が日本に持って行くのは非効率ということで、コロンビアのぶんはいったんメキシコに持ち上がって、メキシコから中南米の一部の地域のぶんをまとめて日本に運ぶのだそうです。

民主主義を実感！

こうして、地球のほぼ真裏に住んでいる私の1票は開票日までに届くことになります。今回、投票できるということが、**日本を離れていても社会と関わっている**と実感する経験となりました。相模原市ではこうした在外投票を利用する人はおおむね100人台(投票総数は32万ほど)です。この票のために少なくない費用と選管職員の労力がかかっていますが、とても大切な、そして民主主義の高い理想を実現するためには必要不可欠の仕組みだと思いました。



在外選挙人証(下)に
投票を記録

アスタルエゴ
では、また次の機会に。iHasta luego!

文責 三ッ橋雅行